

市場連動型メニュー：電源調達補正単価の参考例

平素よりダイワハウスビジネスでんきをご利用いただき、誠にありがとうございます。

お客様のニーズに合わせ、弊社では複数の料金メニューによってお客様へ供給を行っております。本書では、燃料価格の反映（燃料調整費）に加え、スポット市場価格*1の変動を電力量料金に反映させる料金メニュー：市場連動型メニューの料金計算及び参考例をご説明させていただきます。

*1 スポット市場価格 … 日本で唯一の卸電力取引所である日本卸電力取引所（JEPX）が運営する電力市場の取引価格。1日を電力の計量単位（毎時0分～30分、30分～60分）で分割し、48個の個々の商品として取引します。

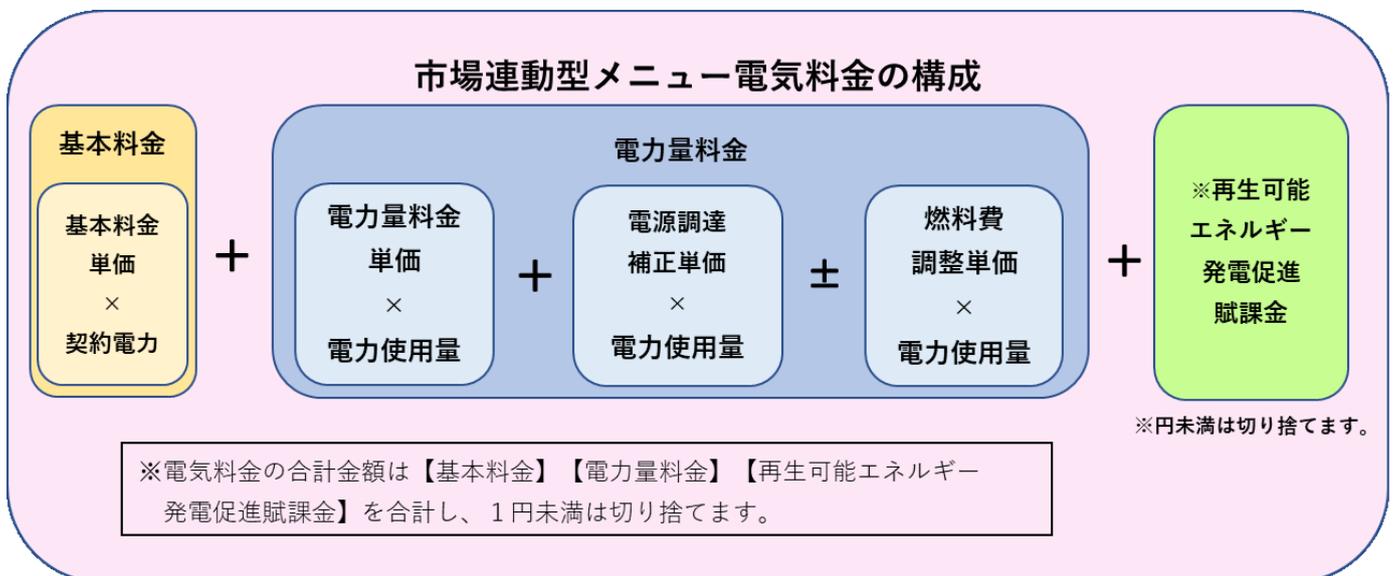
【参考】一般社団法人日本卸電力取引所 <https://www.jepx.jp/>

1. メニュー概要

市場連動型メニューとは、使用される電力の電力量料金が一般社団法人日本卸電力取引所のスポット市場価格に連動する料金体系のメニューです。スポット市場価格の急上昇の影響を大きく受けることに留意が必要です。

2. 料金計算の形態

市場連動型メニューの料金は、基本料金、電力量料金で算定いたします。電力量料金の計算でスポット市場価格に連動する、電源調達補正単価（上限なし、下限設定有り）が設定され、料金計算がなされます。



3. 各料金の単価について

【基本料金】及び【電力量料金】の各単価は、別紙【高圧 料金単価表】をご確認願います。

URL：https://www.daiwahouse.co.jp/ene/reduction/kouatu_menu.pdf

次ページへ続きます。

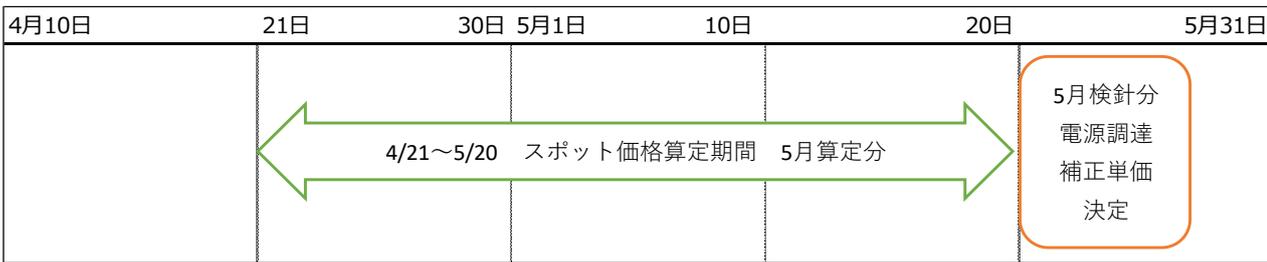
4. 電源調達補正費用とは

ダイワハウスビジネスでんきでは、発電所由来の相対電源他、日本卸電力取引所のスポット市場価格からも電源調達を行っております。電源調達補正費用は、スポット市場価格により上下し、プラス調整になる場合とマイナス調整になる場合があります。

電源調達補正単価の【上限設定はございませんが、下限は▲3.3 円の設定があります。】

5. 適用スケジュール例

電源調達補正費用のスポット市場価格の算定期間は、当月の計量日の起算月の前月 21 日から起算月の 20 日までの 30 分毎の約定単価を平均した金額(平均卸市場価格)に基づき、計算されています。例として、電気料金の算定期間が 4 月ご利用の 5 月検針分の電気料金の場合、電源調達調整単価の算定期間は 4 月 21 日から 5 月 20 日となります。



6. 【電源調達補正費用の計算式】 ※詳細は【特別高圧・高圧電気需給約款】をご確認願います。

(①補正後平均卸市場価格－②調整基準単価+③電源調達調整単価) × その 1 月の使用電力量

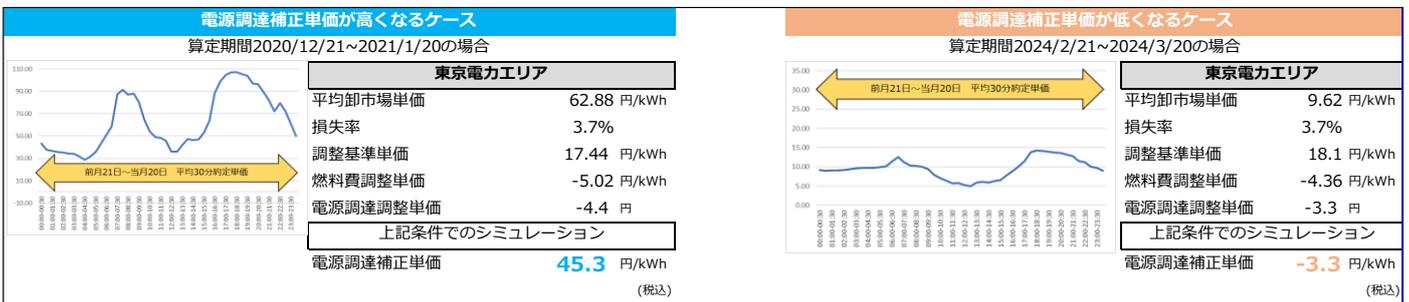
①補正後平均卸市場価格 = 平均卸市場価格 × 1 / (1 - 損失率) + 託送電力量料金単価

②調整基準単価 = 電力量料金単価 + 燃料調整費単価

③電源調達調整単価：平均卸市場価格に応じて【0 円～▲4.4 円】を設定

7. 【ご参考】過去実績における東京電力エリアの電源調達補正単価

「電源調達調整単価」は、スポット市場での取引価格に応じて変動するため、市場の価格変動の影響を大きく受けます。全国的に電力需要が急増する状況下においては、「大きくプラス」になることがございますので、ご理解のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



※お客様の該当の電力供給エリアや電気料金算定期間の違いによって、平均市場単価、損失率、基準単価、燃料費調整単価、市場調達割合が異なる為、シミュレーション結果とは差異が生じる場合がございます。また実際の請求金額とは異なります。

以上